

～WIN WIN 6 人の発起人から皆さまへのメッセージ～

(五十音順)



赤松 良子
元文部大臣

政治は自分たちの力で変えられる

1人でも多くの女性を政治の場に送り、社会を変える原動力にしたいと、アメリカの「エミリーズ・リスト」に触発されてWIN WINを発足させました。会員は、国政選挙や知事選に際して推薦リストから自分がこれと思う候補者を選んで献金するシステムです。推薦候補者は超党派で選考するのが特徴です。WIN WINの活動を通じて、行動しなければ何も変わらない、政治は自分たちの力で変えられるのだということを、多くの女性にまず知って欲しいと思っています。



大河原 愛子
(株) ジェーシー・コム
サ代表取締役会長

WIN WIN と一緒に政治を変えてみませんか

政治の場で活躍する女性は本当に少数です。住みやすい社会をつくっていくためには、もっと多くの女性が決定の場にいなければなりません。新しい政治の道を開きたいと、WIN WINの立ち上げ発起人となりました。賛同人72人、会員336人でスタートした1999年6月、女性が自らの力で政治を変えていくという大きなターニングポイントであったと思っています。先ごろの千葉県知事選挙ではWIN WINが推薦した堂本あき子さんが当選。草の根市民運動型の選挙活動がようやく根付いたことを実感しました。WIN WINと一緒に政治を変えてみたい方のご参加をお待ちしています。



川島 瑠璃
Japan Society,
Director

自分たちの代表を政治の場に送りたい

女性が政治に入るために、ごく早い時期の資金援助がパンを膨らませるイースト菌のような働きをする (Early Money Is Like Yeast) という「エミリーズ・リスト」は、数名の女性が自分たちの知人リストを持ち寄って始め、今ではアメリカ最大の選挙支援団体となりました。日本の政治、社会を変えるために、より多くの女性が政策に関わり、自分たちの代表を政治の場に送りたい。WIN WINはそのための効果的な支援ネットワークに成長すると信じています。



下村 満子
ジャーナリスト

ユニークな " 女男 " のネットワークです

いまの政治、あんまりひどすぎる。政治家なんて信用できない。小泉さん、期待したけど、ガッカリ。誰がやったって同じよ。そんなふうにいる方が多いと思います。でも、そうやって諦めてしまうことが、政治を悪くしているのです。私たちにも責任がある。何とかしたい。そう思って作ったのが「WIN WIN」です。男の政治家の大部分が、しがらみと権力欲と既得権益でがんじがらめになっています。今こそ、そういうしがらみのない、失うものがない女性たちが出ていって、変革するしかない。女性なら誰でもいいというわけではありません。託せる女性たちを自分たちで探して、応援して、当選させよう。そういう思いを持った " 女男 " のネットワークです。年齢、性別、職業、社会的地位、住んでる地域、一切関係ありません。ユニークなネットワークです。仲間になりませんか？



林 陽子
弁護士

女性がパワーを手にする社会、その実現に向けて

97年夏、「リーダーシップ111」の旅行でワシントンDCのエミリーズ・リストを訪問して感銘を受けた6人が発起人となり、シードマネー5万円を各自が出し合ってWIN WINが始まりました。はじめのうちは事務局もなく、私の姉渡辺和子の自宅を司令塔にして。私は定款作りと政治団体としての届出、政治資金規正法のチェック等々を担当しました。あれから間もなく3年。小泉首相での女性閣僚の活躍など、女性にとっての政治は身近なものになりつつありますが、日本の社会に地殻変動をもたらすようなうねりはまだ起きていません。女性たちはもし本物のパワー（権力）を手にしたらどういふ社会を実現していくのか、その青写真がもっと必要であることを痛感します。



目黒 依子
上智大学教授
国連婦人の地位委員会
日本代表

「出たい人」より「出したい人」を政治の場へ

日常生活の様々な局面で社会のメンバーすべてに関わる方針を決める政治の場に女性が極めて少ないのは、政治は男性の世界という概念と共に、選挙制度の問題があります。自分の選挙区で投票したい人がいない、他の選挙区で投票したい人がいる、というジレンマを感じたことはありませんか？ WIN WINは、選挙制度に縛られる投票行動を超えて、自分たちの代表を議会という方針決定の場に送り出すためのシステムです。女性立候補者の中から女性の自己決定権を重視する立場をとる候補者をクールに経済的にサポートする、というのが基本的な仕組みです。個人的な利害やしがらみもない形の代表選出、これまで日本になかったような出入りの自由なサポート・ネットワークです。こんな形で「出たい人」より「出したい人」を選び政治の表に出る女性を先ず増やし、女性が増えることで何が変わるかに期待してみませんか。